

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 216 号	氏名	古林 正和
学位審査委員	主査	永山 雄二	
	副査	由井 克之	
	副査	高村 昇	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、1型糖尿病モデル non-obese diabetic (NOD) マウスにおいて、自己抗原であるインスリンペプチド免疫による疾患発症抑制効果検討のために、野生型ペプチド・アミノ酸置換ペプチド・C末端欠損ペプチドの効果を比較検討したものであり、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 野生型ペプチドと上記変異導入ペプチドの経鼻粘膜投与の効果を、抗ペプチド抗体誘導能・抗インスリン抗体誘導能・リンパ球刺激能・膵島炎抑制効果・糖尿病抑制効果などを指標に詳細に検討しており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、変異導入ペプチド、特にアミノ酸置換ペプチド (A16,19-Altered Peptide Ligand) の、抗インスリン免疫・糖尿病発症抑制、さらには治療効果を明らかにし、今後の臨床研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は1型糖尿病の病態解析、予防・治療の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			